

ベ"議会だより っかい

第106号

2023年8月

久しぶりの別高祭でのパフォーマンス
あふれる笑顔が輝いていた

特集

政策議会を目指し、さらなる深化を	2
計画的な調査で委員会活動を強化	3
一般質問（田村、中村、松原、伊勢、横田、市川、高橋、外山、吉田の9議員）	5
定例会・臨時会のまとめ	10
議会のうごき	11

シリーズ 町民に聞きました

子どもたちにも、町の議会を知ってもらおう!! ...12



北海道別海町議会

政策議会を目指し、さらなる深化を

新人議員5人が加わり、女性議員も増え、職域も多様化された新しい議会がスタートしました。

これまで進めてきた議会改革をさらに成熟させるため、第3期別海町議会活性化計画を策定しました。

改選前に取り組んだ第2期計画の基本理念を踏襲し、4つの基本方針の下に3つの重点計画と21の基本計画を掲げ、議会の活性化に取り組みます。令和5年5月から令和9年4月までの計画期間における3つの重点計画の概要をお知らせします。

重点計画1

議会機能の充実強化と

議会制度の研究

地方自治体の意思を決定し、執行機関を監視する役割などを担う議会が、その役割を十

分に果たすため、幅広い観点からの調査や方策を講じる必要性があります。

このため、別海町が人口減少時代に立ち向かい、持続可能な自治体経営を続けるためにも、さらなる議会機能の充実強化を図る必要があります。

多様化する町民のニーズに應えるため、議員定数や報酬の調査および議員の成り手不足の対策を進めます。

重点計画2

議会からの情報発信の向上と

議会ICT計画の策定

第2期活性化計画では、議会会だよりの改善や、一般質問の新聞チラシ折り込みなどを実施しました。

さらに会議の予定や本会議・常任委員会などの会議結果および要点記録などを公開してきました。

積極的な議会情報と議会活動の成果の公開にも努めてきました。

現在は、より幅広い年代に情報を発信できる、SNSなどさまざまな情報交流の手段が存在しています。

このため、議会活性化の一環として、インターネットを通じた本会議の中継や録画配信などを検討します。

これにより、議会の活動を広く周知し、議会を傍聴しやすく、議会を利用しやすくなるための対策を進めます。

重点計画3

議会の委員会編成の見直しと

政策提言サイクルの確立

執行機関の事務事業を調査するだけでなく、行政の政策に対案を示す、あるいは先んじて立案する機能が、今後の議会に求められています。

このため、委員会活動のPDCAサイクル化を推進し、政策提言・政策論議につなげていきます。

将来の議員定数の減についても視野に入れながら、委員会の種別や委員の定数など、委員会編成について見直しを進めます。



各常任委員会の報告

計画的な調査で委員会活動を強化

改選後の初議会を経て、各常任委員会の構成が決定されました。

その後、総務文教・福祉医療・産業建設の3常任委員会で、令和5年度の調査計画を検討しました。

計画に当たり、各委員会の協議会で、町民の声や執行機関の事務事業を分析し、どの政策課題の調査が必要か委員間での討議を行い、調査項目を選定しました。

常任委員会の定例化・政策形成サイクルを意識した調査を行い、政策提言や政策立案につなげます。

課題解決が長期化する案件については、意見交換会などによる継続協議を関係団体と行います。

また、緊急に生じた課題については、その都度必要に応じて調査項目を追加していきます。



地震や津波の備え、高齢者の支援、酪農振興対策などを調査します。

総務文教常任委員会

委員長 佐藤 初雄 副委員長 田村 秀男 委員 戸田 憲悦・吉田 和行・市川 聖母

(1) 第7次別海町総合計画の実績と計画について

- 事業計画から検討すべき項目を見いだす。
- 基本構想や基本計画に沿った実施計画が調査する。
- 事業を把握し、費用対効果や内容を分析して問題の改善について、対策および政策を究明する。

(2) 第7次別海町総合計画の見直しについて

- 人口減少対策を喫緊の課題と捉えているので、令和6年度の見直し作業に向けて、作業スケジュールや町民意見などの反映方法や見直しの柱を検証する。

(3) 別海町まち・ひと・しごと創生総合戦略について

- 第7次別海町総合計画と同様の調査。

(4) 移住・定住の促進計画について

- 移住・定住促進を進めるソフト事業およびハード事業の計画を調査する。

(5) ふるさと納税寄付金および基金の運用について

- 寄付金の状況および積立金の活用方法を調査する。

(6) 公共施設跡地の利用計画について

- 空洞化や市街地の景観を阻害している公共施設跡地の利活用などの調査をする。

(7) 指定管理施設の現況と課題について

- 公の施設の現況および定義などの確認と見直しを調査する。

(8) 中長期財政運営基準の見直しについて

- 財政調整基金の目標や経常経費や事業費、公債費の推移を調査する。
- 各種基金の財源充当の活用方法について調査をする。

(9) 総合的な防災対策について

- 町民への防災教育や地震・津波対策を重点に、避難方法および事前防災対策や復興支援対策について調査する。

(10) 小中一貫教育および別海高校の魅力向上や支援事業について

- 策定されている別海中央小学校改修工事基本構想について、今後の総合的なゾーニングなどを調査する。
- 高校の魅力向上や支援事業で、町としてできることを調査する。

(11) スポーツ・教育文化施設の管理方法や運営経費について

- 青少年プラザ（旧マルチメディア館）の多様な利用方法や各施設の運営経費を調査する。
- 図書館や老朽化が激しい郷土資料館の現状と課題を調査する。

(12) 学校給食センターの稼働状況について

- 児童・生徒が減少傾向にある中、へき地保育園や高校などへの給食提供などの検討状況を調査する。

福祉医療常任委員会

委員長 外山 浩司 副委員長 宮越 正人 委員 中村 忠士・小椋 哲也・高橋真結美

(1) 第7次別海町総合計画の実績と計画について

- 事業計画から検討すべき事項の洗い出し。
- 実施された事業を把握し、費用対効果や内容を分析し検討を行う。そこから問題点の対応についての検討を行う。

(2) 第7次別海町総合計画の見直しについて

- 令和5年度で中間見直し時期となる現状を把握し課題を明確にし、施策の目的、主要な事業の経過を確認していく。

(3) 健康保険証の廃止に伴う町民生活への安全面について

- 現在の保険証が、来年秋に廃止され、マイナンバーカードを代わりに使用する「マイナ保険証」が導入される。しかし、他人の情報が入力されているなどトラブルが発生している。町民の生活、安全のための調査の実施。

(4) 高齢者の移動支援について

- 運転免許証の返還や高齢者だけの世帯が増える中、高齢者の社会参加につながる移動手段の調査の実施。

(5) 高齢者、障がい者の見守り活動について

- 相談などに、いち早く対応できる体制づくりや、自立生活を支える仕組み。
- 生きがいづくりの推進と、趣味や文化・スポーツ活動を通じての交流。
- 豊かな知識や技能を活かした、世代間の交流機会の充実に向けての調査の実施。

(6) 肥満率の解消状況について

- 肥満問題は、本町の過去からの課題であり、第7次総合計画では2023年の中間目標として、20代から60代の男性の肥満率のKPI（重要業績評価指）が45%→28%になっている。達成状況を確認し、問題解決に向けた調査の実施。

(7) 生涯を通じた歯科検診について

- 学校教育の年代には、歯科検診が義務付けられているが、その後は義務付けられていないのが現状である。そこに令和4年6月の閣議で「生活に適した歯科検診」の具体的な検討が盛り込まれた。歯と口腔の健康は、健康の保持・増進に不可欠な要素である。今後、町民の健康維持にも不可欠な歯科検診について調査の実施。

(8) 町立別海病院の運営について

- 今年度から2年間、コンサルタントに依頼して経営改善計画の作成を行う。町民目線からの改善につなげるための調査を行う。
- コロナ禍での補助金が打ち切れ、一般会計からの繰り入れ金の増が見込まれる。また、内科医が不足したままの状況が続いている。町民のための医療充実に向けて調査の実施。

産業建設常任委員会

委員長 今西 和雄 副委員長 横田 保江 委員 松原 政勝・貞宗 拓雄・伊勢 徹

(1) 酪農振興対策について

- 喫緊の課題に対しての具体的な対応。
- 農協との連携はどのように行っているのか。

(2) みどりの食料システム戦略推進について

- 行政執行方針にも示されているが、具体的な取り組みは。

(3) 酪農研修牧場について

- 研修生の募集および受け入れ状況など。
- パーラー方式を廃止し、スタンション方式のみでの運営における現状と課題。
- 今後に向けての方向性と農協との協議の進捗状況など。

(4) 水産系副産物再資源化施設の運営について

- 現状の処理状況。
- 今後の処理方法などの検討は。

(5) 秋サケ漁業持続化支援等について

- ここ数年来の不漁による漁家の影響について。
- 支援事業だけではなく、鮭の回帰分析や海水状況など、漁協や関係団体と連携した事業について。

(6) エゾシカ被害対策について

- 被害状況は。
- 捕獲状況と、国および道との被害対策に向けての連携状況。

(7) 観光振興対策について

- 地域おこし協力隊員の人数、役割、課題。
- 新しい観光メニューの確立の中で、歴史文化に触れるメニューの創出に取り組むとあるが、具体的な施策は。

(8) 中小企業等支援対策について

- 経営基盤強化を図るための具体的な施策は。

(9) ふるさと交流館について

- 利用者の推移および経営状況。
- 今後も入浴サービスのみで対応するのか。宿泊や食事サービスなども取り入れる考えはあるのか。

(10) 町道などの維持管理について

- 冬期間を終えて、町道の状況、点検・補修状況は。

(11) 道路整備について

- 今年度の新規舗装の計画は。

(12) 空き家等対策について

- これまでの実績と今年度計画は。
- 空き家の状況および対策についての課題は。

(13) 除雪について

- 除雪の実施状況など。

(14) 上下水道事業の経営などについて

- 排水管の新設・増設・改修・移設の状況は。
- 経営状況について。



詳細はこちらからご覧になれます

議員9人による一般質問

質問 子どもの頃から防災教育の実践は



田村秀男議員

質問 小中学校における防災教育は。

答弁 未来を生きる子どもたち、自分の未来を作っていく子どもたちには、かけがえない命を大切にしてほしい。

自分や他人の命を守る防災について理解を深めることは、とても大切な学習である。

学校運営協議会が中心となつて、小学校、中学校合同の1日防災学校を実施している。

地域の大人や高校生、園児などたくさんのさまざまな人が参加できるような防災教育を今後も実践していく。

質問 津波、高潮などの指定緊急避難場所の整備は。

回答の要約

学校教育、社会教育の観点、地域の自主防災組織との連携を図りつつ、現実的に求められる防災教育に取り組む。

答弁 収容可能な避難施設の整備は、充足しているので計画を策定する予定はない。

維持補修費が補助対象となるよう、開発局および道に要望をしている。

質問 事前防災と被災後の復興まちづくりを融合した防災戦略を官民共同で進めるべきでは。

答弁 議員ご指摘の防災戦略は十分認識しているが、ハードルが高い。

国や道の方針などを注視し、現在進めている防災・減災対策の精度を高め、復興に資するソフト的な対策の検討を進める。

質問 酪農危機打開の緊急支援を



中村忠士議員

質問 飼料、肥料の高騰、牛の価格の暴落などにより、経営難による離農が増えている。

国や道の支援継続もあるが、生産コストの上昇に追いつかない。緊急対策が必要だ。

答弁 経費低減策として水道料6カ月減免を実施する。

質問 輸入飼料・肥料に依存しない酪農・畜産への転換を考えていく必要がある。

答弁 少なくとも国産飼料の使用割合を増やすような体制を目指そうと考えている。

町の投票率向上を図る対策は

質問 町投票率は知事選で

回答の要約

水道料減免の施策を実施する。

釧根11町村中8位。町議選は7町村中7位だった。

選挙期間中、投票場の入り口に椅子を置いてほしいなど要望を伝えた。

ブルーシートなどを使い、靴の脱ぎ履きをしなくても済むようにできないか。

答弁 すべての投票所に設置できれば、それが望ましいが、予算と設置、撤去の時間などの課題がある。

質問 年代別投票率では、10代が17%、20代が36%だった。大変低い。対策は。

答弁 成人式での啓発冊子の配布、高校での出前講座などを実施してきた。



議員9人による一般質問

質問 漁業・漁村振興計画の策定が必至では



松原政勝議員

回答の要約

漁協など関係機関と十分協議の上、振興計画策定に向け総合計画の見直しと並行して準備を進める。

質問

近年、水産業・漁村を取り巻く情勢は、漁業生産の減少や生産体制の脆弱化に加えて、原油や資材の高騰など厳しい状況にある。

漁業をはじめ水産加工業など、関連産業への影響で漁村地域の活力低下が懸念される。水産振興計画の策定が必要では。

答弁

漁業については、自然的要因で水揚げが大きく左右される。

つくり育てる漁業や資源管理型漁業など、栽培漁業への取り組みを継続していく。

主要魚種である秋サケについては、別海・野付両漁協お

よび管内さけ・ます増協と連携して、資源の回復に向けた支援策や漁業就業者確保に伴う支援などに取り組む。

水産業を取り巻く情勢の変化に迅速に対応しながら、水産業の持続的発展に向け、しっかり取り組むことが、漁村地域や水産加工業など関連産業の活性化につながると考えている。

漁業振興を推進する振興計画は、中長期的な視点に立った振興策を、総合計画の見直しに合わせて総合的に判断する。

水産業対策振興協議会の中で議論を深める。

質問 ふるさと応援基金の利活用の方向性は



伊勢 徹議員

回答の要約

既存事業の継続・拡充や地域活性化策を展開し、産業の基盤安定、過疎対策など緊急的な政策を優先する。

質問

別海町のふるさと応援寄付金は、急激に実績を伸ばしている。

ふるさと納税による関連基金などを活用した地域活性化への取り組みに向けては、住民や民間企業などと共にアイデアを出し合い、実行に結びつける体制が重要であると私も認識している。

そのためには、住民と民間企業の協力が不可欠であると考える。現在、具体的にどのような組織を編成し、いつ頃から協議を進めていき、何に使うかの見通しを伺う。

答弁

具体的な検討体制、スケジュールなどに関しては、

鋭意検討中であり、結果は所管である総務文教常任委員会へ説明していく。

基幹産業の緊急的な支援、中小企業の振興、持続可能な地域医療の確保、住民団体への支援の拡充、急速に進む少子化への対応などの政策課題に対しては、スピード感を持って対応する必要がある。

地域経済が不安定なまま放置すると、地域活性化策を打つこと自体が困難な状況になる。

まずは、産業の基盤安定、過疎対策など、緊急的な政策判断が必要になった場合に、優先的に財源を活用していく。



詳細はこちらからご覧になれます

議員9人による一般質問

質問 带状疱疹予防接種の費用の助成は



横田保江議員

回答の要約

国でも定期接種を視野に入
れ検討をしていることから、
接種費用の助成は、国の動向
を注視し検討する。

質問

別海町では現在、帯
状疱疹ワクチン接種の価格は、
一人当たり、1回目2万16
70円、2回目で4万334
0円と高額である。

高齢者になると抵抗力が下
がり、かかる確率も高く、予
防接種の金額が大きな負担と
なっている。

標津町では、助成金額が2
万2千円。

根室市では、接種費用の2
分の1が助成金額となってい
る。

町として助成の考えは。

答弁

厚生労働省の厚生科
学審議会において、带状疱疹
の発生頻度やワクチン効果の

持続性などを考え、接種年齢
と期待される効果、安全性に
ついて議論しているところ。
町としても、国の動向を見
て検討する。

男性用トイレにも サニタリーボックスを

質問

加齢の影響で、尿漏
れパットやおむつを使う人が
増えてきている。

全国的にも、公共施設の男
性トイレへのサニタリーボッ
クスの設置が広がっている。

町としても設置が必要では。

答弁

公共施設などの男性
用トイレにも、サニタリーボッ
クスの設置が必要と考える。
今後、設置を進めていく。

質問 今後の給食費無償化は



市川聖母議員

回答の要約

来年度から、小中学生を対
象とした給食費の無償化に向
けて準備を進めていく。

質問

給食費の無償化に取
り組む自治体が増える中、別
海町は取り組まないのか。

答弁

給食の材料費は今年
度予算で約1億円。

保護者や先生方からの給食
費の収入は約8千万円で、そ
の差額は町で負担している。
さらに安心して子どもを産
み育てられる町になるよう、
来年度から小中学生を対象に
給食費の無償化に向けて準備
を進めていく。

町民・免許返納後の バス路線等改善策は

質問

免許返納後も充実し
た日常を過ごすため、バスの
便の増加、路線の改善と見直

回答の要約

しも必要だ。郡部での快適な
バス利用に向けた改善策は。

答弁

移動手段は一定程度
確保されている。特に西春別線
は、釧路行きなどの民間バスに
接続できるようにしている。

今後はさまざまな事情に対
応できる、より利用しやすい
バス運行の改善に努める。

質問

町内循環バス・自動
運転バスの導入については。

答弁

道内の自治体でも自
動運転バスは実証実験の段階。
運転手不足の解消や運転免
許を持たない方には有効だが、
導入は慎重に検討し、本町の
状況に合わせた交通機関を検
討する必要がある。



議員9人による一般質問

質問 在宅療養者へのオンライン診療を



高橋眞結美議員

質問 訪問診療の経緯と現状は。

答弁 寝たきり、病状により通院困難な方を対象に開始。自宅や施設での医師の対面診療などで、療養生活をサポートしてきた。

コロナ禍より感染拡大予防対応などに加え、医師不足のため訪問診療を縮小している。

訪問診療が実施できていない対象者の方については、定期的な連絡や電話での処方に加え、来院していただいて診療を行っている。

質問 光通信が町内全域に整備された。オンライン診療の可能性と今後の方向性は。

回答の要約

オンライン診療は非常に有効。今後、利用希望者は増加すると考えており、実施体制の整備に取り組んでいく。

答弁 別海病院では、各施設の状況に応じて通信機器、汎用ソフトを利用し施設療養者との面談、施設職員からの聞き取りを行っている。

高齢化による在宅療養者の増加、広大な対象地域、医師の人材確保に苦慮している別海病院において、オンライン診療は非常に有効であると考える。

今後は医師が自宅に何回訪問診療だけでなく、情報通信機器を用いた面談、診療の利用希望者は増加すると思われる。

医療提供体制の整備とともに、オンライン診療に関わる実施体制の整備に取り組む。

質問 5類移行後の学級閉鎖基準は



外山浩司議員

質問 新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたが、今後も流行すると思われる。

集団感染で学級閉鎖の対応も考えられるが、基準は。

答弁 インフルエンザ感染症と同様に、2割程度の欠席者や感染者を基準とし、学校医と相談し関係機関と連携して判断する。

質問 新学期になり、コロナ感染症のために学年閉鎖の処置をとった学校もあったが、状況と保護者への周知方法は。

答弁 5類移行前の1校は、国および道の基準により決定。移行後の1校は、欠席者や感染者の2割程度を目安とし

回答の要約

インフルエンザ感染症と同様に扱い、学校医と相談し、関係機関と連携して判断。

で決定している。

周知については、学校から保護者に文書やメールで、個人名などが特定されないよう注意を払い行っている。

質問 コロナ禍の検証として、子どもたちの行動や心の変化を調査し、今後の指導に役立てる考えは。

答弁 知らないうちにストレスが溜まっていたこともあったと考える。

子どもたちに、3年前からのことを振り返らせることは難しい。

実態を一番よく知っている先生方の聴き取りで把握し、今後の指導に役立てていく。



詳細はこちらからご覧になれます

議員9人による一般質問

質問

今後の商工業振興策の

方向性は



吉田和行議員

質問

起業家支援事業補助金は、13年間の運用の中で99件の利用があった。

枠組みに対する問題意識や課題は。

答弁

昨年度、補助金の活用者に抽出形式でアンケート調査を実施し、現在も事業を継続中との回答が多数で一定の成果があったと考えている。

一方で、主な目的である創業の促進、空き店舗利活用の促進による商店街の空洞化防止につながっていない状況。

質問

現行の補助金の枠組みでは幅が狭いのでは。

答弁

今現在のところは、先ほと言った実績もあるが、

回答の要約

今後の支援のあり方について審議会の調査検討、意見をもらいながら地域振興策の具体的な検討をしていく。

そのような意見などあれば審議会の中で議論をして、今後の地域振興策を進めていきたいと考えている。

質問

U・J・ターンも含めた人へのPRは。

答弁

補助対象者は、町内に居住する個人または町内に本社を置く法人となっている。起業家支援事業を広く全国

に宣伝をして、移住定住の促進を図っていないのが現状。

移住定住の促進は、人口減少、生産年齢人口の減少が進む本町にとって有用と考える。

審議会の意見をいただきながら移住定住施策との連動を進めたいと考えている。

全国町村議会議長・副議長研修会

5月23日 東京国際フォーラム 別海町議会議長 西原 浩

本研修会は、全国の議長・副議長を対象にした研修会で、今回は3人の講師からお話を伺いました。

最初に、立正大学教授の江藤俊昭氏の講演です。

今年の統一地方選挙での投票率の低下と、無投票当選率の増加を課題として挙げられていました。

その課題解決のためには、住民と歩む、開かれた議会活動を進めることが大切で、具体例を挙げながら正攻法を着実に進めるべきであると述べられていました。

当議会もさらに議会の活性化を進めるべきと感じました。

次に、ブロードバンドスクール協会の理事の若宮正子氏の「町村こそデジタルを、住民のためのデジタル活用法」です。

58歳からパソコンを独学で習得し、80歳を超えてからゲー

ムアプリを開発、デジタル田園都市国家構想実現会議構成員として活躍されています。

講演では、私はまだまだ未熟。これから大いに学び、成長していきたいと述べられ、我々も刺激を受けました。

最後に、朝日新聞社の三島あずさ氏の「地方議会とハラスメント」です。

女性の政治参画への障壁は何か、議員活動や選挙活動で受けたハラスメント行為などの具体例を挙げられました。

より良い未来を次世代に受け継ぐために、これまでの「当たり前」や自身の価値観を見つめ直し、アップデートし、一緒に変わっていきましよう」と述べられました。

当議会も女性議員が増えてきました。

ハラスメントが起きにくい組織になるように取り組みます。

定例会・臨時会のまとめ

令和5年第2回定例会会議結果報告

人生100年・年金経済域内 循環調査研究事業などを審議

第2回定例会の概要

6月19日に召集され、会期を6月22日までの4日間に決定。

1日目 6月19日

町長から行政報告、副町長から提出案件の概要説明など。

町長からの行政報告

- エゾシカ被害対策の銃器による春駆除で法令違反が判明し途中で中止。

- 令和4年度ふるさと納税寄付金が、約69億4千万円で前年比約2・8倍。

- 重症化リスクの高い高齢者などに新型コロナウイルスワクチン春接種を実施中。

- 厚岸町で開催される天皇家后陛下ご臨席予定の「全国豊かな海づくり大会」と重なるため、例年9月第3週の土日に開催する産業祭を、9月9日と10日に変更

し開催する旨を公表。

- 別海町植樹祭に210名の参加があった。

- 別海・東京ふるさと会が来年30周年を迎える。

議案などの内容説明

- 各会計補正予算5件を予算決算審査特別委員会に付託

- 条例の一部改正4件

- 工事請負契約の締結3件

- 財産の取得2件

- 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定

- 別海町固定資産評価員の選任同意

- 別海町農業委員会委員の任命同意27件

- 令和4年度一般会計および介護保険特別会計繰越明許費繰越計算書

- 令和4年度下水道等事業会計予算繰越計算書

- 専決処分報告（工事請負

契約金額の変更）

議案に関する主な質疑

- 別海町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について（中村議員）

本会議を休会し、産業建設常任委員会を開催。

2日目 6月20日

7名の議員が一般質問。

3日目 6月21日

2名の議員が一般質問。

本会議を休会し、予算決算審査特別委員会を開催。

総務文教常任委員会と福祉

医療常任委員会を開催。

予算に関する主な質疑

● 人生100年・年金経済域

内循環調査研究事業（伊勢委員）

● シティプロモーション情報発信一元化事業（伊勢委員）

● 地域おこし協力隊推進事業（プロモーション推進）（伊勢委員）

● 地域おこし協力隊推進事業（伊勢委員）

● 地域おこし協力隊推進事業（伊勢委員）

（ふるさと応援）（伊勢委員）

- 地域おこし協力隊推進事業（提案型）（伊勢・田村・中村委員）

- 給水収益（貞宗・伊勢・今西委員）

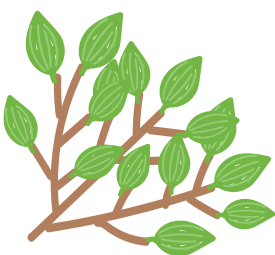
4日目 6月22日

最終日は、委員会付託議案の審査結果報告と各議案の討論・採択が行われ、全ての案件が全会一致で可決。

議員派遣と委員会の閉会中の継続調査を決定。

第2回臨時会の概要

5月10日に開催され、令和5年度一般会計補正予算（第1号）、別海町町税条例等の一部改正、予算決算審査特別委員会の設置および委員会の閉会中の継続調査などが審議された。



議会のうごき

1 議長、副議長、各議員（委員）の動向について

期 日	内 容	備 考
3月20日	令和4年度別海町国営環境保全型かんがい排水事業促進期成会総会（別海町）	議長
3月28日	笠岡市議会行政視察対応（別海町）	議長
4月3日	別海町酪農研修牧場酪農研修生修了式及び入所式（別海町）	議長 産業常任委員長
4月7日	議会モニター委嘱状交付式並びに説明会（別海町）	正副議長 議会運営委員 広報・広聴常任委員長
5月19日	令和5年度別海町商工会通常総代会 令和5年度別海町商工会優良従業員表彰式（別海町）	議長
5月21日	令和5年度別海消防団総合訓練大会（別海町）	議長、議員
5月22日～24日	令和5年度全国町村議会議長会町村議会議長・副議長研修会（東京都）	正副議長
5月26日	令和5年度北方領土復帰期成同盟根室地方支部通常総会（根室市）	副議長
5月26日～28日	第28回東京・別海ふるさと会定期総会（東京都）	議長、議員
6月2日	令和5年度根室地方総合開発期成会定期総会 令和5年度根室教育振興会総会 令和5年度根室教育研究所維持委員会（根室市）	議長
6月6日	令和5年度別海町スポーツ選手後援会総会（別海町）	正副議長
6月10日	別海町植樹祭（別海町）	議長、議員
6月11日	陸上自衛隊第5旅団創立19周年及び帯広駐屯地創設72周年記念行事（帯広市）	議長
6月15日～16日	北海道町村議会議長会第74回定期総会（札幌市）	議長
6月17日	陸上自衛隊第5旅団第38回ファミリーコンサート（帯広市）	議長



全道議長の「第43回議会広報コンクール」において、別海町議会「議会だより104号」の創意と努力が認められ、道内で表彰された3作品の1つに選ばれました。

議会広報コンクールで
入選作品を表彰



議会の政策機能の強化および一般質問の機能強化などが評価され、全国町村議会議長会から「令和4年度町村議会表彰」を受賞しました。

令和4年度全国町村議会議長会表彰を受賞

シリーズ 町民に 聞きました

子どもたちにも、町の議会を知ってもらおう!!

今期実施する議会活性化の取り組みについて、議会モニターの藤原秋彦さんと高橋智美さんにお話を伺いました。



高橋 智美さん

藤原 秋彦さん

広報委員

議会活性化の要のひとつである「開かれた議会」については、議会の情報公開の推進に加えて、SNSなどのインターネットを活用した中継や録画配信を進めていく考えですが、どのように思いますか。

モニター

施設などでは、例えばホールとかで議会の映像を流しておくのもいいですね。

また、子どものものであれば授業で扱ったりしてもらった方がいいと思います。

広報委員

6月の定例会に、中西別の小学生が定例会の見学に来ていました。

とても良いことですよね。

モニター

そういうことが、さらに中継で流されていくことが大事だと思います。

広報委員

あとで、繰り返し何度でも興味のあるところだけ見られるのもいいですね。

モニター

子どもたちが、町のことに興味を持ってくれたらうれしいです。

また、議会が中継されるのはいいのですが、難しい表現が多く、何を言っているのかよくわからない、と言った意見もあります。

一般町民が聞いていて、理解しやすいように議論してほしいです。

中学生や高校生が聞いても、理解しやすい言葉でやり取りしてもらえると、議会の活性化につながると思います。

(取材&撮影 横田・小椋)

令和5年9月定例会の予定

9月11日(月) 10時～

1日目 本会議（先議議案説明・質疑など）

9月12日(火) 10時～

2日目 本会議（一般質問）

9月13日(水) 10時～

3日目 本会議（一般質問）、予算決算審査特別委員会

9月14日(木) 10時～

4日目 常任委員会

9月15日(金) 10時～

5日目 本会議（議案の討論・採決など）

9月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

※議事の内容は、変更することがありますので、議会ホームページをご確認されるか、議会事務局までお問い合わせください。

一般質問の傍聴に
きてみませんか？

議会の会議は、誰でも傍聴できますが、体調不良の方は傍聴をご遠慮いただく場合がありますのでご了承ください。

暑い夏！ 食中毒と熱中症に気をつけましょう！